

NARA SONI VILLAGE

# 曾爾村

奈良



ふつうに暮らす

そっと寄り添う



お問合せ

一般社団法人 SONI SUMMIT

〒633-1214 奈良県宇陀郡曾爾村長野 62 TEL | 080-7208-4518

MAIL | soni.summit.official@gmail.com HP | sonisummit.com

SONI SUMMIT は、曾爾村の移住相談窓口です。一人ひとりの暮らしや生き方にそっと寄り添い、あなたらしい移住のカタチをサポートします。



HP



Instagram



facebook

# ふつう



この村にあるのは、ふつうの暮らし。

ここで生まれ育った人も  
働きにきた人も  
縁あってきた人も  
ひとりの人間として、ただここにいる。  
この村で、同じ空気を吸って、同じ景色を見て  
共に日々を過ごしている。

“移住”という言葉は、なにか特別に聞こえるけれど  
本当に大切なものは、簡単には変わらない。

ここに移り住んで、生活を続けていく  
ただそれだけのこと。

さまざまな背景を持つ人たちが出会い  
互いを認め合いながら、暮らしている。

ごくありふれた、当たり前の日常。

本当に大切なものは、そんなふつうの中にある。

## 目次

- 02 . . . . . アクセス
- 03-04 . . . . . マップ
- 05-08 . . . . . 暮らし
- 09-10 . . . . . すまい
- 11-14 . . . . . しごと

# 曾爾村

SONI VILLAGE

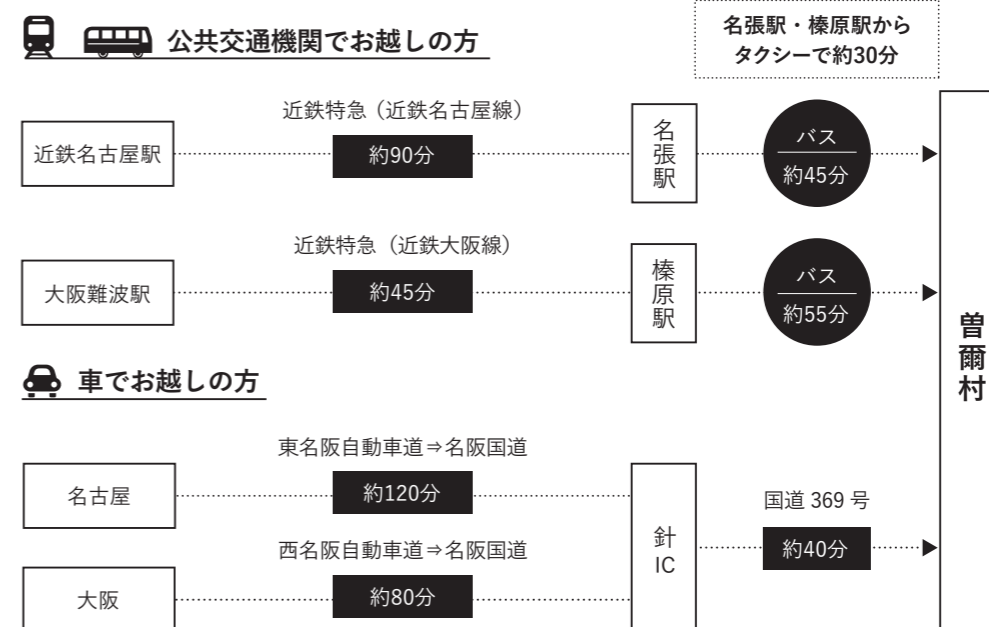
アクセス



データ	面積：47.84 km <sup>2</sup>
DATA	人口：1,295 人（2023 年 10 月時点）
	気候：8 月の平均最高気温：30°C
	2 月の平均最低気温：-3°C（データ提供元：NOAA）

曾爾村は、奈良県の東北端に位置する小さな村です。

「日本で最も美しい村」連合に加盟しており、初夏に舞う蛍や、金色に輝くスキの大海原など、豊かな自然が織りなす圧巻の風景が、日々の暮らしを彩ります。また、瑞々しい夏のトマトや、厳しい冬の寒さで甘みを増した寒熱ほうれん草といった、高原地帯特有の気候を生かした農産物が生産されています。



9つの集落からなる、山々に囲まれた小さな村、曾爾村。

山粕 Yamagasu 郵便局

集落内の春日神社の秋祭りでは、子どもたちが神輿を引いて練り歩く。伊勢本街道沿いのめだか街道は、観光スポットのひとつ。

掛 Kake ガソリンスタンド 金融機関 食料品店

村で唯一の信号機があり、国道は御杖村に通じている。集落に沿って流れる川では6月頃に蜚が浮遊する。

長野 Nagano 郵便局 金融機関 食料品店

国指定の天然記念物である屏風岩がシンボルで、春にはミツバツツジと山桜が岩壁を彩る。曾爾保育園があるのもこの集落。

小長尾 Konagao 食料品店

曾爾小中学校や、入居まで数年待ちとなる大人気のクラインガルテン曾爾(滞在型市民農園)があるのはこの集落。

今井 Imai ガソリンスタンド 金融機関 食料品店 農協

村の中央部で、役場、農協、森林組合などが集まる集落。門僕神社の秋祭りでは、300年の歴史を誇る「曾爾の獅子舞」が奉納される。

塩井 Shioi 飲食店

古光山の裾野に位置する集落。曾爾村が「ぬるべの郷」と呼ばれる起源となった、漆塗りの発祥地であると言われ、漆の植栽地や工房、拠点施設がある。

葛 Kazura 郵便局 飲食店

国指定の天然記念物である鎧岳がシンボル。実が左巻きにねじれる「ヒダリマキガヤ」の木が群生し、県の天然記念物に指定されている。

三重(赤目)方面 三重(名張)方面



暮らしのスポット

- 診療所
- 郵便局
- ガソリンスタンド
- 金融機関
- 駐在所
- 食料品店
- 保育園
- 小中学校
- 図書館
- 飲食店
- 農協

太良路 Taroji 食料品店 飲食店

ススキで有名な曾爾高原や、天然温泉お亀の湯があり、多くの観光客が訪れる。村内でも特に水資源が豊かで、この地区の高原湧水群は「平成の名水百選」に選ばれている。

伊賀見 Igami 診療所 ガソリンスタンド 金融機関 食料品店

曾爾村の中で最も面積が広く、世帯数が多い。四季折々の表情をみせる香落溪や小太郎岩など、渓谷のダイナミックな自然景観が特徴。



お買い物

車があれば、買い物で困ることはほとんどありません。また、村内での食事もお昼は和食・洋食・焼肉など、いろんな飲食店が揃っています。ただし、夜に営業している飲食店がないため、自炊が必要です。

memo

- ✓ 食材や日用品を扱っている小さな商店あり
- ✓ 地元の新鮮な野菜を販売している直売所あり
- ✓ コンビニ、大型スーパー、ドラッグストア、家電量販店などは車で30分程度の隣町へ
- ✓ ネットでの買い物はだいたい翌日に届く
- ✓ 村内にはお昼営業の飲食店がたくさんある

VOICE

みんなの声



菊原さん

基本的には週末に宇陀方面へ買い物に行きます。そのほか、野菜は近所さんからいただくことも多いです。ネットでの買い物もちゃんと届きますよ。

移住3年目 / 塩井 在住



磯野さん

週末に名張市まで行き、1週間分の買い物をまとめてします。ホームセンターや電気屋・飲食店もたくさんあるので、暮らしに関する基本的な買い物は名張市まで行く人が多いかな。

地元 / 伊賀見 在住

高原地帯に位置する曾爾村ならではの四季の暮らし

自然の美しさに癒されることもあれば、自然の厳しさを目の当たりにすることもある。曾爾村の自然と向き合い、自然とともに生きていくための、四季の暮らしのコツをご紹介します。

春

初夏まで少し肌寒さが残るなか、4月中旬頃から県内で一番遅咲きの山桜が見頃を迎えます。村内の山林には、杉・檜が多いため、花粉症対策は必須です。

夏

涼しく快適な曾爾村の夏ですが、住居によっては室内の湿度に注意。除湿器が大活躍します。雑草が生い茂るなか、村内一斉の草刈りが行われます。

秋

ススキで有名な曾爾高原が観光のピークを迎えるため、曾爾高原方面の渋滞には要注意。カメムシ対策として洗濯物の部屋干しをおすすめします。

冬

厳しい寒さを凌ぐため、薪ストーブなど火のある暮らしを楽しめます。水道管の凍結に要注意。積雪は年に数回ですが、スタッドレスタイヤは必須です。

お財布

家賃が安いというイメージから、都市部に比べるとお金がかからないと思われることの多い村の暮らし。しかし実際には、村ならではの暮らしに必要な出費が多くあります。

例：村内4人家族の場合

<p><b>DOWN</b></p> <p>【家賃 約30,000円/月】 一戸建ての古民家を借りた場合の、平均的な家賃です。</p> <p>【外食費】 日用品や食材などの出費は都市部とほぼ変わりませんが、村内には夜まで営業している飲食店がないため、外食費が自然と減るかも。</p>	<p><b>UP</b></p> <p>【ガス代 約7,000 - 11,000円/月】 プロパンガスのため、都市ガスに比べて1.5～2倍の費用がかかります。</p> <p>【浄化槽に関わる費用 約40,000 - 50,000円/年】 浄化槽保守点検費用 約12,000円/年・浄化槽法定点検費用 約4,500円/年 ※年1回程度の定期的な汲み取り費用もかかります。</p> <p>【灯油代 約6,000 - 8,000円/月】 ストーブを使用する期間が11月～4月頃と長いため、灯油代がかさみます。真冬は1か月で18ℓポリタンクを3～4個消費します。</p>
<p><b>KEEP</b></p> <p>【電気代 約4,000円/月】 夏は比較的涼しいですが、冬は電気ストーブやこたつなど、厳しい寒さ対策には費用がかさみます。</p> <p>【水道代 約3,000円/月】 水資源が豊富な曾爾村では、湧き水や山水を利用し、水道料金があまりかからない地域もあります。ただし、村内には下水道が通っていないため、浄化槽や汲み取りに関する費用がかかります。</p>	<p>【ガソリン代 約12,000円/月*1台分】 車での移動がメインになるため、1人1台車があると便利。冬場の路面凍結に備え、スタッドレスタイヤも必須。</p> <p>【テレビ・ネット代 約7,000円/月】 曾爾村でテレビを見る場合には、ケーブルテレビの契約が必須。ネット回線もケーブルテレビの光回線を利用できます。</p> <p>【内費 約10,000 - 40,000円/年】 集落を維持するための自治会費。住む集落により金額は異なります。</p>

子育て

## 子ども一人ひとりに寄り添った保育や指導が魅力

曾爾村には村立の保育園と小中学校があり、地域の自然環境や伝統を活かしたカリキュラムが充実しています。一方、村内には高校がないため、高校への通学は公共交通機関を利用するか保護者の送迎が必要です。(県立の寮が整備されている場合もあります)



### 曾爾保育園

0歳児(生後10ヶ月児)から5歳児までを対象に運動遊びや和太鼓等を取り入れながら、村の人々とのふれあいや交流を大切にしています。

曾爾村長野140-1 TEL:0745-94-2301

VOICE  
みんなの声



園長 東口先生

その年ごとの園児の雰囲気や人数にあわせた、柔軟な保育をおこなっています。村内で野菜の収穫体験をしたり、異世代との交流会を開いたり、地域との繋がりも強いので、あたたかく見守ってもらえる安心感があると思います。子育ての悩みや気になることがあれば、気軽に相談してくださいね。



保護者 山本さん

移住前の保育園では園児が多く、運動場は狭いし、先生との関わりも浅く感じていましたが、曾爾保育園の園児数は20人程度なので、運動場も広々使え、先生も手厚く見てくださるので、とても安心しています。先生と保護者の距離も近く、相談事や世間話ができるので、母親として大変ありがたいです。

### 主な子育ての支援制度

・保育料無料(一時保育・延長保育を除く) ・チャイルドシートの無償貸出	保育園	TEL:0745-94-2301
・給食費全額補助 ・修学旅行費全額補助 ・制服代補助(上限あり)	教育委員会	TEL:0745-94-2104
・0歳から中学校卒業までの医療費全額補助	住民生活課	TEL:0745-94-2102
・村外の高校等にバス通学する生徒への通学定期代半額補助	企画課	TEL:0745-94-2116



### 曾爾小中学校

2020年に小学校と中学校を統合し、9年間の小中一貫校になりました。村の伝統である獅子舞を学ぶ地域学習など、村一丸となって教育環境を整えています。

曾爾村小長尾900 TEL:0745-94-2014



### 放課後児童健全育成事業(学童クラブ)

保護者が仕事などでお昼の間は留守にする小学生10歳未満の児童(放課後児童)に対し、授業終了後に学習や遊びの場を提供しています。

\*行き帰りはスクールバスを利用します。

曾爾村長野62 TEL:0745-94-2104

VOICE  
みんなの声



校長 森川先生

教師が一人ひとりの児童・生徒と深く向き合い、細かなところにも目が行き届く教育環境は、少人数ならではの良さだと思います。今後、生徒達が進学や就職を機に村から離れることがあっても、将来また帰ってきたいと思う気持ちを育めるよう、地域とともにある教育を大切にしています。



保護者 出口さん

一学年10人前後の生徒数ですが、最近は移住して来られた方も増えてきました。小人数だからこそ先生に質問しやすかったり、一人ひとりが勉強に集中できる環境があります。学年の垣根があまりなく、部活動でもいろんな学年同士の繋がりが持てるのが良いですね。

### 医療

村内に診療所があり、日常生活の中で怪我や体調不良があっても安心して受診することができます。ただし、夜間・休日の救急医療体制は十分ではないため、近隣自治体の総合病院を利用していただく必要があります。

#### 村内

#### 曾爾村国民健康保健診療所

曾爾村伊賀見43-1  
TEL:0745-94-2212

内科 小児科 皮膚科  
整形外科 歯科 ※歯科のみ要予約

#### 村外

#### 宇陀市立病院

奈良県宇陀市榛原萩原815  
TEL:0745-82-0381

#### 名張市立病院

三重県名張市百合が丘51-178  
TEL:0595-61-1100

## || 村での生活を検討する上で重要な要素 = 家選び ||

村内にある住宅の多くは、昔ながらの木造民家で不便な部分もある半面、どこか懐かしいぬくもりが感じられる点が魅力です。村役場も、様々なニーズに応えられるサービスを用意し、積極的に家探しをサポートしています。ご自身が求めるライフスタイルに応じた家選びをしてみてください。

VOICE  
みんなの声

### 試す

#### # 移住お試し住宅



移住1年目 安井さん

歴史を感じる古民家を改修した素敵な家で、シェアハウスに住むという貴重な体験をさせてもらっています。短期・長期滞在が選べますが、私の場合は長期滞在をしながら家探しをしています。移住お試し住宅を会場にして、地域の方を巻き込んだイベントも定期的で開催されるので、色々な住民の方と知り合える良い拠点です。Wi-Fi環境も整っているので、リモートワークの短期拠点として利用される方も多そうですね。

### 借りる

#### # 移住お試し住宅 # 若者定住促進住宅 # リビングシフト # 空き家バンク



移住3年目 猪子さん

賃貸物件の場合は売買物件に比べて気軽に住めるので、古民家暮らしが自分に向いているのか、その土地で暮らしていけるのか等の判断がしやすいですね。ただ、物件の選択肢が少ないので、自分のライフスタイルや家族構成に合った「ちょうどいい家」に出会えるかは、タイミングと運次第です。空き家バンクのサイトをこまめにチェックすることをおすすめします。

### 買う

#### # 空き家バンク



移住9年目 高松さん

数年間の賃貸期間を経て、家主さんから物件を売却してもらいました。「将来的には売却しても良い」という家主さんの意向を契約当初から確認できていたので、賃貸期間中に購入後のイメージを膨らませることができ、購入後は自由に改修・DIYをして理想の住まいに近づけています。古民家を購入する場合は、維持管理にお金がかかることもあるので、長期的な視点で購入を考えた方が良いでしょう。

### 主なすまいの支援制度 お問合せ 企画課 TEL: 0745-94-2116

- ・ 空き家改修補助金 : 最大200万円 (空き家の改修に要する経費の3分の2)
- ・ 家財道具整理補助金 : 最大15万円 (空き家の家財道具等の整理に要する経費の2分の1)
- ・ スマートリノベーション : 最大400万円 (定期賃貸借物件の改修に要する経費の3分の2)
- ・ 薪ストーブ補助金 : 最大15万円 (薪ストーブの購入及び設置に要する経費の2分の1)



### CASE 1 # 移住お試し住宅

空き家になった古民家をシェアハウスに改修した、移住お試し住宅「結～musubi～」。地域住民との交流を深めながら空き家を探したり、短期・長期的に拠点をもちながら村内で活動をしていくのにおすすめです。

sonisummit.com/trial\_house/



### CASE 2 # 若者定住促進住宅

45歳以下の方を対象とした村営の賃貸住宅。家族世帯向けの戸建てや単身世帯向けのアパートなど、家族構成に合わせたいくつかの住宅があります。

www.vill.soni.nara.jp/Info/105



※空き家が出ると村のHPで随時募集がかかります。



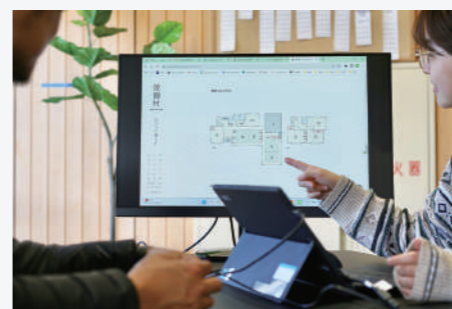
### CASE 3 # リビングシフト

空き家になった古民家を村が借り上げ、リノベーションし、45歳以下の方を対象に賃貸住宅として提供しています。

www.vill.soni.nara.jp/Info/424



※空き家が出ると村のHPで随時募集がかかります。



### CASE 4 # 空き家バンク

曾爾村の空き家情報を掲載して、空き家の利用希望者と所有者をおつなぎします。「賃貸」や「売買」など、物件によってさまざまな条件があります。空き家バンクの利用には、利用者登録が必要です。

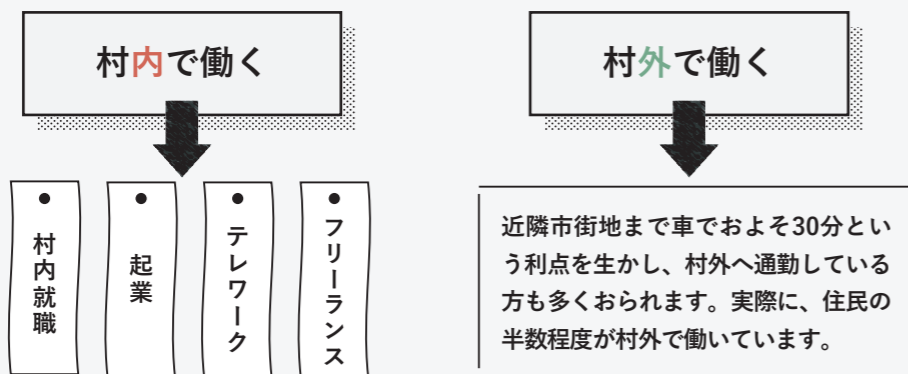
sonisummit.com/akiya\_bank/





## || 移住する際に考えなければならない「しごと」のこと ||

**Q** 村内で就職するのか、起業・開業を目指すのか、フリーランスで働くのか…  
 選択肢は十人十色。これから移住を志す方々の参考となるような先輩移住者たちにそれぞれの働き方やライフスタイルについて聞いてみました。



<p><b>主なしごとの支援制度</b> お問合せ 企画課 TEL: 0745-94-2116</p> <p><b>【地域おこし協力隊】</b>                  総務省による地域活性化の取組み。曾爾村では、「起業型」や「企業研修型」など最大3年の任期満了後に自立できるよう、協力隊の形もバラエティに富んでいます。</p> <p><b>【起業支援補助金】</b>                  新規事業の立上げに要する経費の2分の1（最大100万円）</p>
---

### 村内で働く



高松 和弘さん

**PROFILE**  
 出身 | 奈良県  
 現職 | 一般社団法人 曾爾村農林業公社

**移住のきっかけ**  
 #自然豊かな環境で暮らす  
 #地域の当事者となって働く

### “ 小さい村だからこそコミュニケーションを大切にしていきたい ”

■東京暮らしを経て、Uターンを決意  
 大学進学を機に上京して農業系の新聞社に就職したのですが、現場で一日取材をしても、記事にした後は地域との関わりがなくなってしまう、直接役に立っているという実感が持てずいました。地方に転動して現場の近くで働いた際に「自分ならこうしたい」と、自分中心で農村を捉え始めるようになったんです。自然豊かな地域の魅力を再認識したこともあり、奈良に戻って現場の当事者になって働く決意をしました。

■村内で働くということ  
 日々起こることをすべてが仕事と直結してくるので、オン・オフの境目があまりなく、やりがいを感じる一方、気分転換も大切です。村民との関係を築きつつ、内向きな感覚に寄りすぎないようにバランスを取ることを心掛けています。もともと村に住んでいた農家さんと、移住して農業に挑戦しようとしている人のギャップを作らないように潤滑油となることで、多様性を認め合う環境を作っていきたいです。

### “ 子育てと仕事を両立できるのは教育機関や地域住民の理解があるから ”

■東京から地方へ、キャリアの転換  
 国内外のイベント運営会社をはじめ、メディア・広告業界など多業種に渡って東京でキャリアを形成してきました。20代はほぼ全て仕事に捧げていましたが、30代になり、働き詰めの生活や情報過多な社会に疲れてしまったんです。過去に地域密着型の仕事に関わっていたこともあり、結婚を機にライフステージが変わるタイミングで、もう一度地域に携わる仕事がしたいと思いい、地域おこし協力隊として着任しました。

■村内で働くということ  
 村民の方との距離が近いことが最大の特徴です。村民の方と協力し合って、移住者ならではの観点で企画するコンテンツを創っています。大手の旅行会社とは一味違う、一歩踏み込んだ企画ができるのが楽しいです。また、産休・育休を取りながら働いているのですが、曾爾村は地域で子育てをする風習が残っており、子育て世代同士でも助け合えることが多く、そのおかげで公私を両立することができています。



林 須未奈さん

**PROFILE**  
 出身 | 大阪府(アメリカ・イギリス育ち)  
 現職 | 一般社団法人 そののわGLOCAL(地域おこし協力隊)

**移住のきっかけ**  
 #キャリアへの新たな挑戦  
 #地域おこし協力隊  
 #子育てしながら働く

## 起業する



森岡 智紀さん・奈月さん

## PROFILE

出身 | 三重県・山形県  
現職 | 農家民宿『月陽 tsukihii』オーナー

## 移住のきっかけ

#自給自足の暮らし  
#パーマカルチャーの追求  
#地域おこし協力隊

## 曾爾村の自然と共に 心地よい暮らしの創造を楽しむ

■自給的で丁寧な暮らし  
震災や原発事故を目の当たりにして、利便性の裏側で自然環境の破壊が進むことに心を痛めました。自然に負担の少ない暮らしをしたかと思つたと同時に、免疫も弱く敏感体質でもあったので、水や空気の綺麗な環境で、農作物を育てながら暮らしたいと思うようになりました。パーマカルチャーが先進的な国などを旅した後、曾爾村の地域おこし協力隊の募集に出会い、自給的な暮らしを目指して移住しました。

■自分のペースで楽しく働く  
月陽は、曾爾村で四季を楽しむ自然な暮らしを体感出来る宿です。お客様にも恵まれていて、素晴らしい時間を共に過ごすなかで、後日お手紙などを頂くことも。人とのご縁を感じる、とてもありがたいお仕事だと感じています。一方、肩書きに囚われず、夫婦それぞれが得意なことを活かした生業を他にも持っています。今後も自然との関わりを大切に、心地良い暮らしを創っていききたいです。

## 起業する



中野 展宏さん

## PROFILE

出身 | 大阪府  
現職 | トマト農家『畑のあかり』

## 移住のきっかけ

#新規就農  
#脱サラ  
#地域おこし協力隊

## トマトのシーズン以外は、和歌山へ援農 スキマをうまく利用して学んで活かす

■不安を抱えたまま飛び込んだ農業の世界  
銀行員として20代を過ごしていましたが、時勢によって相場が変動する瞬間を目の当たりにし、「いま自分の食べているもの」の価値が簡単に変わってしまうことに危機感を覚えました。「お金」「食糧」というキーワードが自分のなかで芽生え、農業で独立したいという想いを抱きつつも、農家がどういった職業なのかも知らないまま、不安だけを抱えて地域おこし協力隊として飛び込みました。

■スキマにチャンスを見出す農業  
売上を増やすため、規格外のトマトを使って加工品をつくっています。それ以外にも、収入のひとつとして、作業量が減る冬場には和歌山県のみかん農家さんまで援農しに行っていますし、春も作業の合間を縫ってハーブ苗の販売をしています。トマトを作るなかで生じる「スキマ」に、何かしらのチャンスを見つけて色々やるのが自分のスタイルですね。



山下 竜一郎さん・岩間 朱水さん

## PROFILE

出身 | 大阪府  
現職 | 有機農家『種の実』

## 移住のきっかけ

#健康のため  
#自然豊かな環境で暮らす

## 導かれるまま有機農家へ 生き方のなかに農業がある

■農家になったのは、偶然の出会いから  
アトピー体質だったので、自然豊かな環境で暮らしたくて曾爾村に移住しました。数ヶ月で体調も良くなり仕事を探していた折に、宇陀市の有機農産物栽培の訓練学校の存在を知って、導かれるように有機農業について学び始めたのが農家になったきっかけです。農業をしたくて移住した訳ではなかったので、自分でも「異色だな」と思います。

■オンもオフもない、生き方そのものが農業  
有機農法で栽培した葉物を中心に販売していますが、正直なところ、なかなか一筋縄ではいきません。野菜を売って生活をするのが農家ですから、自分たちが栽培したものにどういった付加価値をつけるかがとても大事になってきます。体力的なしんどさはあるけど、精神的なしんどさは無いんですね。昔の人のように「仕事と休み」という感覚がなくて、人生・生き方そのもののなかに農業がある。そういう風に感じています。

## 夢を叶えたセカンドライフ 移住に必要なことは、計画性と覚悟

■憧れの地で、豊かなセカンドライフ  
もともとは会社を経営しており、妻は塾講師でした。お互い仕事を引退したタイミングで「いつか山小屋に住みたい」という夢を叶えるため、曾爾村で住居兼飲食店のログハウスを建てました。移住希望者や観光客、村民が気軽に集える空間を作りたいので、料理が好きなこともあり、飲食未経験でしたが喫茶店の開業に挑戦しました。営業後は、塾講師だった妻の経験を活かして、店内で子供たちに勉強を教える時間を作っています。

■一筋縄ではないかな曾爾村の観光業  
曾爾高原が観光客で賑わう9月〜11月は、お客様がたくさんいらっしゃるピークの時期ですが、それ以外の季節は基本的に閑散期です。そのため、現役世代の方が曾爾村での開業を目指して移住するためには、ある程度の計画性と覚悟が必要だと思います。ただ、仕事を引退した世代の方が開業する場合は、日中も休みの日もやるのがたくさんあるので、生きがいになると思います。



丸山 卓哉さん・節子さん

## PROFILE

出身 | 奈良県  
現職 | 『Cafe Mt.Marui』オーナー

## 移住のきっかけ

#セカンドライフ  
#山に近い暮らし